

外国語科学習指導案

令和元年 10 月 25 日

学校名 竹原市立吉名学園

指導者 若本 綾子

単元名 To Our Future Generations (New Horizon 3 Unit 4 東京書籍)

学 年 第9学年 (18名)

1 単元について

【単元観】

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説外国語編 1 目標（2）話すこと〔やり取り〕ウ「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うこと」ができる力の育成を目標とする。

この目標での「社会的な話題」とは、社会で起こっている出来事や問題に関わる話題のことであり、広く国内外で起こっている事象で、多様な考え方ができるようなものを取り上げる。本単元では、身近な避難訓練から東日本大震災へと話題が展開され、災害に関わる人の生き方、過去の記憶を未来へとつなぐことをテーマとしている。

言語活動としては、防災や東日本大震災の話題について、考えたことや感じたことなどを、簡単な語句や文を用いて述べ合うこと、聞いたり読んだりしたことを基にやり取りを展開すること、聞いたり読んだりして得た情報や考えなどを共通の話題とし、生徒がお互いに質問したり個人又は集団で考えや感想、理由などを交流することを設定している。

言語材料としては、「疑問詞 + to + 動詞の原形」「It (for + (人) + to + 動詞の原形)」「want + (人) + to + 動詞の原形」を扱う。

【生徒観】

4 月に実施された全国学力・学習状況調査結果を取りあげる。（7月結果公表）

①生徒質問紙における肯定的回答は「英語の勉強は好きです。」70.6%、「英語の勉強は大切だと思います。」100%、「英語の授業はよく分かります。」94.1%、「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思います。」47.1%であった。いずれも全国・県平均を上回っているが、「好きだ」「実生活で使ってみよう」というような意欲をもたせることが十分にできていない。生徒質問紙「1, 2年生のときに受けた授業」については、すべての質問事項でほぼ90%の肯定的回答であった。それにも関わらず「話すこと」の力が十分に身に付いていない原因は、指導方法に問題があるということである。

②「話すこと」の調査結果は、大問1が全国平均を下回り、大問2及び3がやや上回った。大問1では、正しい英語を用いて即時的に話す力（解答時間10秒以内）が身に付いていないと言える。大問2ではやり取りを踏まえた質問をしていない生徒が29.4%、理解に支障のある解答と無解答をした生徒の合計は44.1%であった。大問3では、70.6%の生徒が自分の将来の夢を述べているが、そのうち、関連した内容を付け足すことに課題がある生徒が23.5%いた。全設問における無解答率は全国平均よりも高く、間違いを恐れずに発話することに課題がある。一言も発話しなかった生徒が17名受験者中2名いる。

【指導観】

指導に当たっては、次の3点に留意する。

1 点目は、学習意欲を高めるために、生徒が目的や言語の使用場面を意識して行うことができる言語活動を設定することである。教科書で読んだ東日本大震災時のある人物の生き方をテーマに、自分の考えたことや感じたことなどを述べ合う。

2 点目は、考えたことや感じたことなどを、簡単な語句や文を用いて述べ合う活動を継続して行うことである。これまでの指導において、身近なテーマについてやり取りする活動は行ってきたものの、ある程度まとまった量の英語を話し続ける活動はあまり行ってこなかった。ひとりで話し続けるためには、自分の考えをもつことと話す語彙や技能が必要である。その手立てとして、様々なテーマについて、話す前にメモを書いて「考えや気持ちを述べる」「関連する文を加える」ような言語活動を継続して行う。どのような内容を付け足したのかを全体で共有することをを行い、表現の幅を広げさせたい。また、話す活動と書く活動を有機的に関連付ける。

3 点目は、カリキュラム・マネジメントの観点から、総合的な学習の時間に学習している防災教育に関する知識を関連付けることである。「昨日食べたもの」「週末にしたこと」といったような身近なテーマでは、やり取りする内容の深まりや知的好奇心の高まりに限界があるかもしれない。難易度は上がるが、本単元で「地域防災」「よりよい生き方」「社会貢献」等をテーマに設定して互いの考えや気持ちを述べ合う活動を行い、自らがよりよい社会づくりに関わっていくようにさせたい。支援が必要な生徒には個別の理解度や到達状況を把握して、適切なフォローを行う。

2 単元目標

「よりよい生き方」や「社会貢献」等のテーマについて、自分の考えや気持ち、その理由などについて述べ合うことができる。

3 単元の評価規準

| ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | イ 外国語表現の能力 | ウ 外国語理解の能力 | エ 言語や文化についての知識・理解 |
|--|--|------------|--|
| ①間違えることを恐れず、積極的に自分の考えを話したり相手の考えに対して同意したり感想を述べたりしている。 | ①聞いたり読んだりしたこと等について、自分の考えや気持ちなどをまとまりよく話すことができる。 ②与えられたテーマについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 | / | ①「疑問詞 + to + 動詞の原形」と「It … for + (人) + to + 動詞の原形」「want + (人) + to + 動詞の原形」を用いた文の構造を理解している。 |

4 単元ゴール

| | |
|-----------------------------|---|
| コミュニケーションを行う目的や場面、状況 | 【課題】東日本大震災時の中澤さんの生き方を読んで、自分の生き方について考えたことを友達と述べ合う。 |
| 目指す発話例（下線部） 「話すこと[やり取り]」 | <p>A: What kind of life do you want to have? B: <u>I want to enjoy my life, so I want to do my favorite things. I like reading books, so I want to read many books.</u> A: I see. You want to be a writer, right? B: Yes, I do. <u>I want to write stories. If people read and enjoy my books, I will be happy.</u> A: That's a nice dream. Who is your favorite writer? B: I like Higashino Keigo. I have many of his books. A: <u>I hope that you will be a good writer someday.</u> B: Thank you. If I become a writer, please read my books. How about you? <u>What kind of life do you want to have?</u></p> |

5 「CAN-DO リスト」での学習到達目標 話すこと[やり取り]

| 第1, 2学年 | 第3, 4学年 | 第5, 6学年 | 第7～9学年 |
|-------------------------------------|--|--|--|
| 動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句を用いて伝え合う。 | サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりする。 | 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。 | 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べたり、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりすることができる。 |

6 単元計画（全7時間）

| 時 | 目標（◆）、主な学習活動（○）、留意事項（☆）等 | 評価規準（評価方法） |
|---|---|--|
| 1 | <p>○本単元のゴールを共有する。【本単元のゴール】東日本大震災時のある人の生き方を読んで、自分の生き方について考えたことを述べ合う。さらには自分の身の回りの問題について考えたことを述べ合う。</p> <p>☆総合的な学習の時間で学んでいることと関連付けさせる。</p> <p>○教科書 p. 58 の本文を読み、自分たちの学校の避難訓練時の決まり事と比較する。「疑問詞 + to + 動詞の原形」の用法を理解する。</p> <p>○教科書本文を音読する。</p> <p>◆災害時に必要な物についてやり取りすることができる。</p> <p>①Interactive Teacher Talk (T-S のやり取り)</p> <p>②S-S Interaction</p> <p>③Sharing (疑問を出し合ったり、まねたいやり取り例を共有したりする)</p> <p>④S-S Interaction</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: What do you want in an emergency? B: I want water and food. They are important to live. How about you? A: I want a mobile phone, too. I can get information. B: That's right.</p> </div> <p>○話したことを基に、自分が必要な物について書く。</p> | <p>エ①(後日ペーパーテスト)</p> |
| 2 | <p>◆災害用バッグに入れる物とその理由を述べ合うことができる。</p> <p>○バッグに入れたいものリストを見ながら五つ選んで、理由とともにメモにまとめる。</p> <p>○災害用バッグに入れる物についてやり取りする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: What will you put in your emergency bag? B: I will put water, food, paper towels, clothes and money. If we have water and food, we can live. A: I think so, too. We need water and food. B: How about you? A: I will put medicine, a mobile phone, money, books and a hand-crank radio. If we can't use electricity, a hand-crank radio will be useful. B: That's right. We can use the radio without electricity.</p> </div> <p>○If～を用いて選んだ理由を述べる。</p> <p>○相手の考えや気持ちなどに同意する表現を用いる。</p> <p>☆1時間目の①～④と同じ流れでやり取りの内容を高める。</p> <p>◆教科書 p. 60 の本文を通して、ブラジルと日本の地震についての意識の違いを知る。「It … for + (人) + to +動詞の原形」の用法を理解する。</p> <p>○教科書本文を音読する。</p> | <p>エ①(後日ペーパーテスト)</p> |
| 3 | <p>◆11月の地域防災訓練でやってみたいことや楽しみなこと等についてやり取りすることができる。</p> <p>○総合的な学習の時間に学習した地域防災についての画像を見ながら、自分の考えをメモにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: What are you looking forward to about our evacuation drill? B: I am looking forward to seeing a medical helicopter. I have never seen a medical helicopter, so I want to see it. A: I see. I want to see it, too. I want to make a cardboard bed. It looks fun to make it. B: Yes. I made it in September at Bamboo Joy Highland. It was fun to make it with my friends. It was easy, too. It was comfortable to sleep on the bed. A: Wow! I want to try it.</p> </div> | <p>ア①(活動の観察) イ①(後日パフォーマンステスト)</p> |

| | | |
|-------------|--|-------------------------------|
| | <p>☆1文で終わらせず、気持ちや過去の経験の有無等を付け足すように指導する。</p> <p>☆1時間目の①～④と同じ流れでやり取りの内容を高める。</p> <p>◆やり取りしたことを基に自分にとって大切なことや難しいこと等についてまとまりのある文章を書く。</p> | |
| 4 | <p>◆教科書 p. 62, p. 64 の本文を通して、東日本大震災後の人々の思いや行動等を理解する。「want + (人) + to + 動詞の原形」の用法を理解することができる。</p> <p>☆8年前（生徒達は小学校入学前）の災害で、当時の記憶があまりないことが予想されるので、身近な災害や当時の様子を振り返りながら内容理解を深める一助とする。</p> <p>○本文（175語）を読み、内容理解をするための質問に答える。</p> <p>○印象に残った部分に印を付ける。</p> <p>○なぜその文を選んだのかを共有する。</p> <p>○毎年のように自然災害が起きていることを思い浮かべ、そのことについて自分の気持ちや考えなどを書く。</p> | エ①（後日ペーパーテスト） |
| 5 | <p>◆読んだことについて考えたり感じたりしたこと、その理由等を述べ合うことができる。</p> <p>○前時に書いた「自然災害について自分の気持ちや考え」を班で読み合う。</p> <p>○中澤さんの行動についてどう思うか、互いの考えを述べ合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: What do you think of Mr. Nakazawa's actions? B: I think that he is great because he worked to help people in the East Japan. What do you think? A: I think that he is great, too. I think that his idea was good. He made violins out of the driftwood from the disaster. His violins healed people and made them happy. He did a great job for the people in the East Japan.</p> </div> <p>○話す前にメモにまとめる。</p> <p>☆自分が英語で言えるかどうかを考える生徒には、できるだけ自由に書かせ、「英語で言えることを言う」のではなく「言いたいことを言う」ようにしたい。</p> <p>○やり取り後に「言いたかったけど言えなかった表現」を共有して、どう表せばよいのかを考える過程を繰り返して、徐々に表現の幅を広げる。</p> | ア①（活動の観察） イ①（後日パフォーマンステスト） |
| 6 本 時 | <p>◆テーマを自分事に広げて自分の考えや気持ちを述べ合うことができる。</p> <p>○中澤さんの生き方を知って、自分はどんな生き方をしたいかを述べ合う。</p> <p>○話す前にメモにまとめる。（☆前時と同様）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: What kind of life do you want to have? B: I want to enjoy my life, so I want to do my favorite things. I like reading books, so I want to read many books. A: I see. You want to be a writer, right? B: Yes, I do. I want to write stories. If people read and enjoy my books, I will be happy. A: That's a nice dream. Who is your favorite writer? B: I like Higashino Keigo. I have many of his books. A: I hope that you will be a good writer someday. B: Thank you. If I become a writer, please read my books. How about you? What kind of life do you want to have?</p> </div> <p>☆1時間目の①～④と同じ流れでやり取りの内容を高める。</p> <p>○自分たちはだれかのために何ができるかを述べ合う。</p> <p>☆中澤さんのように「だれかのために」という視点をもたせる。</p> | ア①（活動の観察） イ①（後日パフォーマンステスト） |

| | | |
|----|---|---------------|
| | <p>☆テーマを自分事から外の世界へ向かわせる。</p> <p>○テーマについてメモを書く。</p> <p>○ペアでやり取りをする。</p> <p>☆生徒の様子を見て、やり取りが難しいようであれば、数名を指名して T-S のやり取りにする。</p> | |
| 7 | <p>◆前時のテーマについて、自分の考えや気持ちなどを書くことができる。</p> <p>○前時に書いたメモや友達とやり取りした内容をもとに、まとまりのある英文を書く。</p> <p>○班内で質問したりアドバイスしたりしながら書く。</p> <p>☆生徒が書いている英文の中から、修正したい英文を全体に示したり、自己修正するための視点を与えて自己チェックさせたりする。</p> <p>☆書き終えた英文は後日、英語で交流している他の中学校の生徒宛に送る。</p> | イ②(後日ペーパーテスト) |
| 後日 | <p>◆パフォーマンステストを実施する。</p> <p>○与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを話す。</p> | イ②(インタビューテスト) |
| | <p>◆ペーパーテストを実施する。</p> | エ①(ペーパーテスト) |

7 本時の計画 (5 / 7 時)

(1) 目標

自分の生き方についての考えや気持ちを相手に伝えたり、相手の質問に答えたりすることができる。

(2) 展開

| 学習活動 | 指導上の留意点 (○) | 評価規準 (評価方法) |
|---------------------------|--|----------------|
| 0 授業前に参観者に自己紹介して回る。 | ◆「努力を要する」と判断した生徒への手立て ○緊張をほぐし、話しやすい雰囲気づくりを行う。 | |
| 1 本時のテーマと目標を確認する。 | <p>テーマ：What kind of life do you want to have in the future? —自分たちのこれから先のことについて考えや気持ち等を述べ合おう—</p> <p>目標①自分の考えや気持ち等をまとまりよく述べることができる。 ②相手の言葉に関連する質問をすることができる。 ③相手に共感したりする言葉がけをすることができる。</p> | |
| 2 テーマについて自分の考えや気持ち等をメモする。 | <p>○メモを書く時は話そうとする文をそのままではなく、キーワード等で書かせる。日本語でも英語でもよい。</p> <p>◆書き進まない場合には「高校でやってみたいこと」「将来の夢」のようなテーマでもよいことを伝える。</p> | |

| | | |
|--|---|---|
| <p>3 次の流れで友達とやり取りする。</p> <p>(1) S-S Interaction</p> <p>(2) Sharing</p> <p>(3) S-S Interaction</p> | <p>A: What kind of life do you want to have?</p> <p>B: I want to enjoy my life, so I want to do my favorite things. I like reading books, so I want to read many books. ❶</p> <p>A: I see. You want to be a writer, right? ❸</p> <p>B: Yes, I do. I want to write stories. If people read and enjoy my books, I will be happy. ❶</p> <p>A: That's a nice dream. ❸ Who is your favorite writer? ❷</p> <p>B: I like Higashino Keigo. I have many of his books.</p> <p>A: I hope that you will be a good writer someday. ❸</p> <p>B: Thank you. If I become a writer, please read my books. How about you?</p> <p>What kind of life do you want to have?</p> <p>※❶～❸は本時の目標に対応</p> <p>○机間指導で生徒のやり取りを観察して、生徒が困っていることやうまくできていることを把握する。</p> <p>○Sharing で疑問を出し合ったり、まねたいやり取り例を共有したりする。</p> <p>○相手の考えに共感したりさらに質問したりして、相手への思いやりの気持ちをもってやり取りさせる。</p> | <p>ア①間違ふことを恐れず、積極的に自分の考えを話したり相手の考えに対して同意したり感想を述べたりしている。(活動の観察)</p> <p>イ①聞いたり読んだりしたこと等について、自分の考えや気持ちなどをまとまりよく話すことができる。(後日パフォーマンステスト)</p> |
| <p>4 自分たちはだれかのために何ができるかを述べ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマについてメモを書く。 ・ペアでやり取りをする。 <p>5 振り返りをする。</p> | <p>What can you do for others? (family, the society, the world...)</p> <p>○中澤さんのように「だれかのために」という視点をもたせる。</p> <p>◆生徒の様子を見て、やり取りが難しいようであれば、生徒を指名して T-S のやり取りにする。</p> <p>○本時のゴールが達成できたか確認する。</p> | |

8 板書例

| | |
|---|---|
| <p>テーマ What kind of life do you want to have in the</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>目標①自分の考えや気持ち等をまとめよく述べることができる。 ②相手の考えを聞いて、質問をすることができる。 ③相手に共感する言葉がけをすることができる。</p> </div> <p>自分の考えや気持ち I want to ~. I need ~. important ~, because... It's ~. difficult easy If ~, ... great cool exciting</p> <p>相手へのコメント That's right. I think that ~. I think so, too. I hope that ~. That's a good dream / idea. You ~. You ~, right? If ~, ... I agree with you.</p> | <p>さらに質問 What do you want to ~? What do you think? Why do you want to ~? How about you? What / Who is your favorite ~?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>言いたいけど言えなかったこと</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Further Question: What can you do for others? (family, society, the world...)</p> </div> |
|---|---|

9 パフォーマンステスト評価基準

| | |
|--|---|
| <p>【課題】 過疎化が進む吉名町を住みよい町にするためには何が必要なのか、また自分たち若い世代がすべきことは何なのかについて考えや気持ちなどを述べ合う。</p> | |
| A 評価 | B 評価 |
| <p>吉名町の過疎化に対して必要なことや自分たちができることについて、自分の考えを理由とともに述べあっている。また、自ら質問をしたり、相手の質問に適切に応答したりしている。</p> | <p>吉名町の過疎化に対して必要なことや自分たちができることは何なのかについて、考えたことや感じたことを述べ合ったり、質問に応答したりしている。</p> |
| 目指す発話例 | |
| <p>A: What do we need to make Yoshina a better town? What can we do for Yoshina? B: <u>I think we need more young people. I like Yoshina, but Yoshina is not convenient to live in for young people. I want to make Yoshina a convenient town to live in.</u> How about you? A: Well, <u>I agree with you.</u> We need more people, too. <u>If we have convenient places like supermarkets, hospitals or banks, our town will be a convenient town for people.</u> Also, I want to do something good for Yoshina. B: <u>If we have a flea market at Yoshina Elementary School, more people will come.</u> Also, I want to talk with people at the evacuation drills next month. A: Oh, that's a good idea. <u>It's important to know each other.</u></p> | <p>A: What do we need to make Yoshina a better town? What can we do for Yoshina? B: I think that we need more young people. How about you? A: I think that we need more people, too. B: What can we do for Yoshina? A: We can help old people and talk with them. B: Oh, that's a good idea.</p> |